



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月9日

上場会社名 株式会社日本動物高度医療センター 上場取引所 東
コード番号 6039 URL http://www.jarmec.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平尾 秀博
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 石川 隆行 TEL 044 (850) 1320
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,982	3.5	159	△45.5	152	△48.5	97	△50.6
2023年3月期第2四半期	1,915	33.3	293	60.8	295	58.5	197	55.4

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 97百万円 (△50.6%) 2023年3月期第2四半期 197百万円 (55.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	35.61	35.07
2023年3月期第2四半期	85.02	83.18

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	8,664	3,848	44.4
2023年3月期	8,578	3,706	43.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 3,848百万円 2023年3月期 3,706百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,140	6.9	555	△4.4	565	5.8	385	1.1	139.79

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社グループは年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	2,836,200株	2023年3月期	2,836,200株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	72,116株	2023年3月期	101,116株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	2,744,380株	2023年3月期2Q	2,327,378株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計上の見積りの変更)	8
3. 補足説明	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、緩やかに回復しました。鉱工業生産は、海外経済の減速に伴う輸出の低迷を受けて弱い動きとなった後、供給制約の緩和を受けて持ち直しました。個人消費は、外食・宿泊・娯楽などの対面型サービスを中心に回復しましたが、物価高の影響で一部に弱い動きが見られました。設備投資は、高水準の企業収益を背景に堅調を維持しました。

当社グループが属する動物医療業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でペットとの生活に癒しを求める動きが強まりました。全国動物病院数は増加を続けており、また、犬猫の高齢化に伴い疾病が多様化する中で飼い主の動物医療に対する多様化・高度化要請は高まってきております。

このような環境の中、当社グループは、飼い主のかかりつけ病院（一次診療施設）と連携して高度医療への取り組みを続けるとともに、当社グループ内の診療実績を発表するための学会報告や、一次診療施設向けの情報誌を発行するなどの情報発信を積極的に行うことにより、動物医療業界における信頼の獲得、認知度の向上と、それに伴う紹介症例数の増加に取り組んでまいりました。

2023年4月～6月におきましては、川崎本院の放射線治療を機器の刷新のために休止したこと、眼科廃止に伴い新規患者の受入れを4月に停止したこと、6月1日に診療開始した大阪病院の開院準備のため、既存病院の一部診療スタッフの稼働が低下したこと等により症例数が減少しました。7月以降は診療スタッフ増強により診療能力が向上したことや、大阪病院が順調に推移していることから症例数は増加を続けており、7月～9月は四半期としては過去最高の売上となりました。

一方で大阪病院の開院に伴い院内備品を購入するなどの一時的な費用発生や、人件費及び減価償却費の増加によりコストは上昇しました。

大阪病院は引き続き人材の充実により症例受入れ能力の増強を図りつつ、将来の業容拡大に向けて放射線治療施設の建設に着手しました。2024年5月に予定している放射線治療の開始により成長の促進を図ります。

また、全国展開の一環として、第5の二次診療施設となる新病院の物件選定を行っております。

以上の結果、二次診療サービスにおきましては、初診数（新規に受け入れた症例数）は3,855件（前年同期比0.5%増）、総診療数（初診数と再診数の合計）は13,466件（前年同期比3.9%減）、手術数は1,157件（前年同期比0.3%増）となりました。

画像診断サービスにおきましては、一次診療施設への営業活動強化により検査件数は増加しました。

健康管理機器レンタル・販売サービスにおきましてはレンタル数・販売数は横ばいとなりました。引き続き経営の効率化、グループシナジーの発現、代理店との関係強化施策を進めてまいります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,982,185千円（前年同期比3.5%増）、営業利益は159,831千円（前年同期比45.5%減）、経常利益は152,198千円（前年同期比48.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は97,749千円（前年同期比50.6%減）と増収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,104,614千円となり、前連結会計年度末に比べ292,107千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が226,076千円、原材料及び貯蔵品が15,978千円、未収還付消費税等が61,294千円減少したことによるものであります。固定資産は6,560,306千円となり、前連結会計年度末に比べ378,132千円増加いたしました。これは主に大阪病院開院及び川崎本院工具、器具及び備品の取得によるものであります。

この結果、総資産は8,664,921千円となり、前連結会計年度末に比べ86,024千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,082,994千円となり、前連結会計年度末に比べ186,850千円減少いたしました。これは主に未払費用が23,321千円、預り金が15,167千円、1年内返済予定の長期借入金が52,325千円、賞与引当金が17,354千円増加した一方で、買掛金が34,805千円、未払金が192,851千円、未払法人税等が67,119千円減少したことによるものであります。また、固定負債は3,733,563千円となり、前連結会計年度末に比べ130,550千円増加いたしました。これは主に長期借入金が147,528千円増加、繰延税金負債が14,458千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、4,816,558千円となり、前連結会計年度末に比べ56,300千円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は3,848,362千円となり、前連結会計年度末に比べ142,324千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上97,749千円及び自己株式の処分による増加44,584千円であります。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、364,622千円（前年同期比17.2%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益153,548千円、減価償却費204,135千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、789,167千円（前年同期比394.3%増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出774,488千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は、198,468千円（前年同期は197,141千円の支出）となりました。これは主に、長期借入れによる収入489,900千円、長期借入金の返済による支出290,045千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ検討した結果、2023年5月11日付「2023年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,916,039	1,689,963
売掛金及び契約資産	263,369	259,724
商品	95,691	88,491
原材料及び貯蔵品	31,157	15,178
その他	100,080	61,280
貸倒引当金	△9,616	△10,022
流動資産合計	2,396,722	2,104,614
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,217,472	2,183,022
工具、器具及び備品(純額)	859,266	1,265,872
土地	2,248,337	2,248,337
その他(純額)	8,211	9,253
有形固定資産合計	5,333,288	5,706,485
無形固定資産		
のれん	183,328	173,143
商標権	391,917	370,144
その他	32,990	32,288
無形固定資産合計	608,236	575,577
投資その他の資産	240,649	278,243
固定資産合計	6,182,174	6,560,306
資産合計	8,578,896	8,664,921
負債の部		
流動負債		
買掛金	83,316	48,511
1年内返済予定の長期借入金	582,517	634,843
未払法人税等	149,073	81,954
賞与引当金	87,386	104,741
その他	367,551	212,944
流動負債合計	1,269,845	1,082,994
固定負債		
長期借入金	3,393,164	3,540,693
退職給付に係る負債	34,100	34,550
繰延税金負債	118,013	103,555
資産除去債務	40,944	41,169
その他	16,790	13,595
固定負債合計	3,603,013	3,733,563
負債合計	4,872,858	4,816,558
純資産の部		
株主資本		
資本金	791,100	791,100
資本剰余金	711,137	706,490
利益剰余金	2,375,457	2,473,197
自己株式	△171,656	△122,425
株主資本合計	3,706,038	3,848,362
純資産合計	3,706,038	3,848,362
負債純資産合計	8,578,896	8,664,921

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,915,255	1,982,185
売上原価	1,199,778	1,359,036
売上総利益	715,476	623,149
販売費及び一般管理費	422,291	463,318
営業利益	293,185	159,831
営業外収益		
受取家賃	11,680	11,680
保険解約返戻金	337	2,641
物品売却益	5,203	—
その他	5,005	3,827
営業外収益合計	22,227	18,149
営業外費用		
支払利息	8,968	9,320
資金調達費用	2,362	1,843
固定資産除却損	8,203	14,435
その他	116	181
営業外費用合計	19,650	25,781
経常利益	295,762	152,198
特別利益		
固定資産売却益	—	1,349
特別利益合計	—	1,349
税金等調整前四半期純利益	295,762	153,548
法人税等	97,881	55,798
四半期純利益	197,880	97,749
親会社株主に帰属する四半期純利益	197,880	97,749

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	197,880	97,749
四半期包括利益	197,880	97,749
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	197,880	97,749

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	295,762	153,548
減価償却費	193,666	204,135
のれん償却額	10,184	10,184
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,310	406
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,018	17,354
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,750	450
支払利息	8,968	9,320
資金調達費用	2,362	1,843
固定資産売却益	—	△1,349
固定資産除却損	8,203	14,435
保険解約返戻金	△337	△2,641
売上債権の増減額(△は増加)	△17,905	3,645
棚卸資産の増減額(△は増加)	6,971	16,136
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,542	△12,648
未収消費税等の増減額(△は増加)	14,308	61,432
未払消費税等の増減額(△は減少)	11,634	84
その他	△2,528	31,376
小計	522,171	507,715
利息の受取額	5	19
利息の支払額	△8,927	△9,489
法人税等の還付額	7,035	—
法人税等の支払額	△79,730	△133,623
営業活動によるキャッシュ・フロー	440,554	364,622
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△143,097	△774,488
有形固定資産の売却による収入	—	1,449
無形固定資産の取得による支出	△1,639	△6,104
敷金の差入による支出	—	△262
敷金の回収による収入	—	141
保険積立金の積立による支出	△15,796	△16,177
その他	871	6,273
投資活動によるキャッシュ・フロー	△159,662	△789,167
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	100,000	489,900
長期借入金の返済による支出	△292,952	△290,045
リース債務の返済による支出	△3,063	△2,676
自己株式の処分による収入	1,000	3,000
その他	△2,124	△1,709
財務活動によるキャッシュ・フロー	△197,141	198,468
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	83,750	△226,076
現金及び現金同等物の期首残高	968,595	1,816,039
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,052,346	1,589,963

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社の工具、器具及び備品の耐用年数につきましては、法人税法に規定する方法と同一の基準によっておりましたが、大阪病院の開院準備を契機に、有形固定資産の使用実態の調査を行った結果、一部の工具、器具及び備品について耐用年数をより実態に即した経済的使用可能予測期間に基づく耐用年数に見直し、将来にわたって変更しております。

この変更に伴い、従来の耐用年数によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ35,543千円増加しております。

3. 補足説明

当社グループは、動物医療関連事業の単一セグメントであります。つきましては、補足情報として、主要な売上の区分についての販売実績を下記のとおり開示いたします。

(単位：千円・%)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	
	売上高	構成比	売上高	構成比
二次診療サービス	1,283,309	67.0	1,327,762	67.0
画像診断サービス	230,492	12.0	258,327	13.0
健康管理機器レンタル・販売サービス	396,534	20.7	392,827	19.8
その他	4,918	0.3	3,268	0.2
顧客との契約から生じる収益	1,915,255	100.0	1,982,185	100.0
外部顧客への売上高	1,915,255	100.0	1,982,185	100.0

(注) グループ間の取引については相殺消去しております。